

水稻用倒伏軽減剤

ロミカ[®] 粒剤



農林水産省登録 第17815号

この差は大きい。
出穂 **25** 日前から!

より使いやす
くなりました!

使用時期

出穂 **25** ~ **10** 日前

ロミカは住友化学(株)の登録商標

倒れてからでは遅すぎます

ロミカ粒剤とは

ロミカ粒剤の有効成分であるウニコナゾールPは植物のジベレリン生合成を阻害することにより、植物細胞の縦方向への伸長を抑制します。有効成分のこのような作用により、ロミカ粒剤を処理したイネは節間伸長が抑制され、倒伏に対する抵抗性が高まります(写真参照)。

なお、本剤は倒伏防止剤ではありません。倒伏防止のための耕種的な諸施策を補完する剤として本剤をご使用ください。



特長

①品質向上・収量安定・収穫作業の効率化が得られます。

主に上位節間に作用することにより、稈長を短縮し、優れた倒伏軽減効果を示すため、品質の向上・収量の安定ならびに収穫作業の効率化が得られます。

②倒伏予測可能な時期に処理できます。

処理時期は、倒伏診断のある程度可能な出穂25～10日前に設定されているので、必要に応じた使用ができます。

③処理時期の幅が広く、作業に余裕が持てます。

処理時期の幅は2週間以上あり、散布日の選定に余裕が持てます。

④スポット処理が有効です。

水田の倒伏を起こしやすい部分だけに散布する「スポット処理」が行えるため効率よく、しかも経済的にお使いいただけます。

適用内容及び使用方法

成分：ウニコナゾールP……………0.040%

作物名	使用目的	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数*
水稻	節間短縮 による 倒伏軽減	出穂 25～10日前	2～3kg/10a	湛水散布	本剤: 1回 ウニコナゾールP: 2回以内 (種子浸漬は1回以内、本田では1回以内)

*収穫物への残留回避のため、本剤およびウニコナゾールPを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

使用上の注意事項＜抜粋＞



- (1) 散布に当っては水の出入りを止め、3～5cmの水深を保ち、散布むらのないよう田面に均一に散布してください。散布後少なくとも7日間は落水やかけ流しをしないでください。
- (2) 本剤を黒ぼく土壌の水田で使用する場合は、効果が十分に発揮されないことがあるので注意してください。
- (3) 重複散布や多量散布は、後作物に影響する場合がありますので使用量を厳守してください。

- (4) 本剤を使用した水田の土壌を野菜類の育苗用床土に使用することはさけてください。
- (5) 本剤の使用に当っては、土壌の条件や水管理などの栽培管理により効果変動する場合がありますので、使用量、使用方法については、あらかじめ病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

29H11H17R18:T

2017年11月作成

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP



住友化学



動画
チャンネルは
こちら！

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 ☎ 0570-058-669
農業支援サイト 稲力 <https://www.i-nouryoku.com>
住友化学アグロ事業部

